

70th

Business Report

株式会社クレディセゾン 営業のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日〈第70期〉

お客様と50年間を共に歩む
ファイナンスカンパニーへ

お客様と50年間を共に歩む ファイナンスカンパニーへの挑戦

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第70期(2019年4月1日～2020年3月31日)決算につきまして、ご報告申し上げます。

昨年、当社が大切にしてきた経営理念である「サービス先端企業」に加え、ミッションステートメントとして「お客様と50年間を共に歩むファイナンスカンパニーへ」を掲げて、2022年3月期(72期)までの新たな中期経営計画を策定いたしました。「人生100年時代」といわれる中、ライフステージの変化に合わせてお客様一人ひとりに寄り添い、提案し続けられる真のファイナンスカンパニーを目指してまいります。

第70期は、国内においては天皇陛下即位に伴う「令和」への改元、「老後資金2,000万円」報告、消費税増税、台風大雨被害、日本人スポーツ選手の世界的活躍等、さまざまな出来事がありました。

また、2020年の年明け早々からは新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大によりパンデミック宣言がなされ、世界経済への甚大な影響が心配されております。

一方、当社におきましては、人事の公平性や透明性の確保に向けた指名・報酬委員会の設置、迅速な有能人材の採用や経営者候補の育成を目的とした執行役員制度の検討・導入、自己株式取得、IR手法や決算説明会資料の改訂、組織・人事の改編を春から秋へ変更することによる効率的な組織運営の実践、(株)大和証券グループ本社との資本・業務提携、利用実績等に応じたクラス別の特典を提供する「セゾンクラッセ」、毎月1万人に現金1万円が当たる「セゾンのお月玉」など中期経営計画の達成に向けてさまざまな取り組みを実施してまいりました。

これらの結果、当期における業績は、純収益3,114億10百万円(前期比2.2%増)、事業利益361億84百万円(前期比30.7%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益228億63百万円(前期比25.1%減)となりました。

また、1980年代から取り組んでまいりました、いわゆるESG経営を実践し、より豊かで便利な社会の発展に寄与することで、持続的な企業価値の向上と社会への貢献を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役(兼)社長執行役員COO

山下 昌鬼



Payment決済ビジネス

取扱高拡大に向けた新たな取り組み

決済ビジネスにおける成長戦略と構造改革を推進し、カード会員数は2,639万人（前期末比1.5%減）、ショッピング取扱高は4兆9,469億円（前期比3.3%増）となりました。

セゾンカード・UCカードのスマートフォンアプリ「セゾンPortal」「UC Portal」をご利用のカード会員様を対象に、2019年4月より一律のサービスから利用実績等に応じたクラスで特典を提供する「セゾクラッセ」を、2019年9月より毎月1万人に現金1万円が当たる「セゾンのお月玉」を開始し、カード利用におけるサービス向上に取り組みました。また、2019年10月より、スマートフォンでカードの即時入会・即時利用が可能な「セゾンカードレス決済」を開始し、今秋にはより発展させた新しいペイメントサービスの提供を予定しております。さらに、2019年9月に発表した

(株)大和証券グループ本社との資本業務提携を通し、クレジットカード事業、証券事業を核とする金融ビジネスのノウハウと顧客ネットワークを活用・融合した「次世代の総合金融サービス」の開発・提供を進めております。



Solutionソリューションビジネス

法人マーケットにおける取扱高拡大に向けて

法人マーケットのキャッシュレス化とバックオフィス業務の効率化の取り組みを推進し、企業間決済におけるショッピング取扱高は13%伸長いたしました。加盟店領域では、2019年10月から経済産業省により施行された「キャッシュレス・消費者還元事業」



に参画し、キャッシュレス決済の普及に向けた取り組みを推進しています。また、2019年10月より、freee(株)との提携による企業の財務データや取引データを活用した与信モデルを導入した「freeeセゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」の発行、2020年1月より企業間決済の優遇サービスを付帯したビジネスカード「セゾンコバルト・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」の発行を開始し、中小企業・個人事業主マーケットの取り込みに向けて積極的な営業展開を行っております。業務受託の拡大に向けた取り組みでは、日本郵便(株)が2019年6月から、全国で展開する会員サービス「郵便局倶楽部」のシステム開発およびコールセンター、会員情報の管理を受託いたしました。

Globalグローバルビジネス

将来を見据えたグローバル事業の収益基盤拡大

グローバル事業を将来の収益基盤の柱として位置づけ、成長著しいアジア圏内において、各国に即したリテール金融ビジネスを展開しております。ベトナム、インドネシア、タイで展開する事業に加え、インドに設立した「Kisetsu Saison Finance (India) Private Limited (以下KSF社)」では、2019年9月に事業ライセンスを取得し、デジタルレンディング事業を開始しました。KSF社では、当社が日本のリテールファイナンス事業で培ってきたノウハウを活かし、インドでレンディングノウハウを保有するスタートアップ企業との提携を通じて、幅広い領域での迅速な事業展開により、

インドの経済成長の一翼を担ってまいります。また、2019年6月に、シンガポールにコーポレートベンチャーキャピタル「Saison Capital Pte. Ltd.」を立ち上げ、アジア圏のほかアフリカ・南米等のスタートアップやファンドに対する投資を実行しております。引き続き、迅速な意思決定のもと、世界の有望なスタートアップへの投融資を強化・推進してまいります。さらに、2020年1月、カンボジア・ミャンマー・スリランカ・インドの4か国において現地子会社・関係会社を通じてマイクロファイナンスを提供する五常・アンド・カンパニー(株)に対し、新興国でのマイクロファイナンス事業資金

Digital Marketingデジタルマーケティング

お客様のQuality Of Life向上に寄与するビジネス創造

ネット会員やスマートフォン向けアプリ会員のさらなる拡大とともに、優良なコンテンツ・プラットフォームを持つ有力企業や新技術を有するベンチャー企業との機動的な連携によって、当社が保有するビッグデータ・顧客基盤と外部企業のリソースを組み合わせた新たなビジネスモデルを推進しております。また、「優良コンテンツ」と「利便性の高い決済機能」をデジタル技術で効果的・効率的に提供することでお客様のQuality Of Life向上の実現に努めております。

主な取り組みとして、永久不減ポイント交換商品の拡充や保有ポイント数との差額をカード決済できるECサイト「STOREE SAISON(ストーリーセゾン)」、シニア向けに脳健康診断テスト事業を行う(株)脳活性総合研究所への出資による健康プラットフォームの強化などを行いました。

Financeファイナンスビジネス

マーケットニーズに即したファイナンス機能の提供

クレジットカード事業で培った営業力・全国ネットワークを活かし、マーケットニーズに即したファイナンス機能の提供と、提携先企業とのリレーション強化により、収益源の多角化と環境変化に強いノンバンクとしての事業基盤の構築に取り組んでおります。



リース&レンタル

事業者の設備投資計画に合わせ、OA通信機器や厨房機器などを中心に営業を推進しております。既存主力販売店との共同キャンペーン実施等による信頼関係強化や、10月の消費税増税前の駆け込み需要の取り込みを行った結果、債権残高は3,281億円(前期末比6.4%増)となりました。

信用保証

個人向け証書貸付型フリーローンの保証業務を中心に、提携金融機関との営業・管理両面にわたる密接な連携により、良質な案件の獲得に注力しております。資金使途を事業性資金にも広げたフリーローン保証商品を通じて、地域金融機関等とのきめ細かな連携体制の構築に努めた結果、提携先数は合計で400先(前年差3先減)、保証残高は3,489億円(前期末比0.6%増)となりました。

ファイナンス

「フラット35」は、カード会員向け優待やクレジットカード事業で培ったセゾンブランドが持つ信頼感・安心感等を背景に「フラット35PLUS」、「フラット35つなぎローン」、「セゾンのリフォームローン」、2019年6月に新たに取り扱いを開始した「フラット35(保証型)」等を含めた「セゾンの住宅ローン」として住宅購入時のサポートを推進した結果、貸出残高(住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高9,453億円含む)は9,609億円(前期末比25.7%増)となりました。また、「セゾンの資産形成ローン」は、引き続き提携先との連携による良質債権の積み上げに注力し、貸出残高は6,221億円(前期末比22.9%増)となりました。

Investment資産形成ビジネス

お客様に寄り添う資産形成・人生設計のサポートを目指して

2016年12月より他社に先駆けて開始した、永久不減ポイントで投資を疑似体験できる「ポイント運用サービス」の利用者は50万人となりました。運用コースのラインアップ拡充など、ユーザビリティ向上を推進しています。2019年11月には、セゾンカード・UCカード会員様を対象に、スマートフォン証券サービス「セゾンポケット」の提供を開始いたしました。投資初心者が抱く「怖い・面倒・わからない」というハードルを解消し、スマートフォンを使った「やさしい・簡単・わかりやすい」投資サービスを提供することで、お客様のスムーズな実投資への移行をサポートしております。また、2019年6月より「セゾンのファイナンシャルアドバイスサービス」を開始し、安心できるファイナンシャルプランナーをご紹介

することで、お客様のお金にまつわる不安やご相談を気軽に承ることができるようになりました。これからも、資産形成・人生設計を支える金融商品・サービスを通じてお客様の日々の生活・将来をサポートしてまいります。



ESG

クレディセゾンだからできる持続可能な社会づくり

「サービス先端企業」という経営理念のもと、当社だからできる社会の発展・課題解決に日々の事業を通じて貢献することで、今よりもっと便利で豊かな持続可能な社会をつくることを目指しております。

社会に向けた取り組みとして、キャッシュレス社会の推進、ポイント交換やカード決済による寄付活動、次世代教育・金融教育、スポーツ・文化活動支援を行っております。社内ベンチャープログラムより誕生した中高生向け金融教育プログラム「出張授業SAISON TEACHER」を2020年3月より本格始動いたしました。2010年より運営する赤城自然園では、環境保全、次世代、地域活性、福祉への取り組みを推進し、来場者数は、累計52万人となりました。また、2019年6月に指名・報酬委員会の設置、2020年3月には執行役員制度を導入するなど、コーポレート・ガバナンスの充実にに向けた取り組みを推進しております。

Diversity & Inclusion

社員一人ひとりが能力を発揮できる組織づくり

企業として変化に富んだ組織運営を実現するため、社員一人ひとりの活躍の形、貢献の仕方、そして選択肢の多いキャリアが存在する多様性組織を目指しています。

社員の能力や可能性をさらに引き出すため、1on1ミーティングや人材育成会議などキャリア開発支援の体制構築や、働き方の柔軟性を高めるフレックス勤務などの各種制度の活用を促進しております。また、社内ベンチャープログラム「SWITCH SAISON」では、1年間で応募数が300件を超え、事業化につながる案件も出ており、イノベーション創出の風土醸成につながっております。さらに、ワークスタイル変革を目的とした本社のオフィスリニューアルを行い、今後も制度・環境ともに社員の活躍を支える取り組みを推進してまいります。



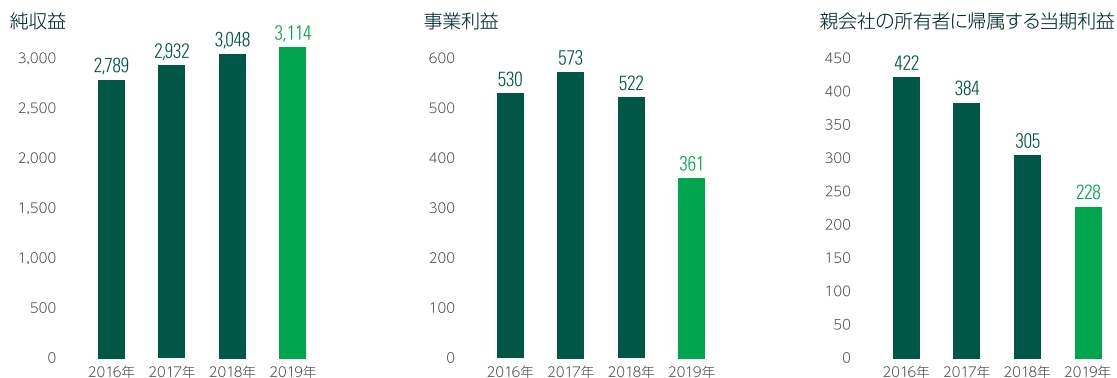
■ 中期経営ビジョン

「Neo Finance Company in Asia」を中期経営ビジョンとして掲げ、『お客様と50年間を共に歩むファイナンスカンパニーへ～お金に関する「安心」と「なるほど」を～』をミッションステートメントとする2022年3月期までの中期経営計画を策定しております。

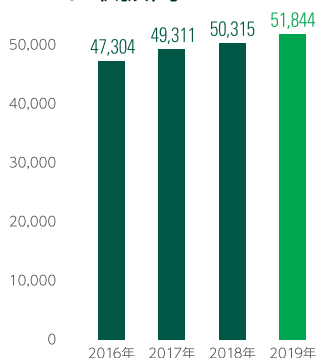
「Neo Finance Company in Asia」の実現に向け、クレジットカードやプリペイドカードなどの決済サービスを中心に、お客様の生活上のあらゆるマネーイベントに関わる最適なサービスを提供していくファイナンスカンパニーへの転換に挑戦することで、2022年3月期には連結事業利益600億円を目指してまいります。

■ FINANCIAL DATA

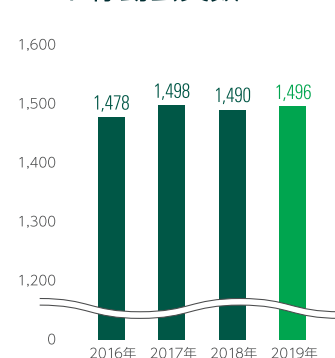
経営成績



カード取扱高 (単体)



カード稼働会員数 (単体)



(注) 1. 当社は、2018年度より従来の「日本基準」に替えて「国際財務報告基準 (IFRS)」を適用しております。上掲のグラフ中、2016年は日本基準に、2017年以降はIFRSに基づいて表示しています。
2. 日本基準の「営業収益」は「純収益」、「経常利益」は「事業利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」は「親会社の所有者に帰属する当期利益」となります。

Supporting Company



いつまでも挑戦する想いを、 わたしたちは支えています。

わたしたちはサッカー日本代表とともに成長し続けていきたいという想いから、2001年よりサポーターカンパニーとして、サッカー日本代表を応援しています。また、2014年からはアジアサッカー連盟 (AFC) とのスポンサーシップ契約により、近年のアジア地域において絶大な人気を誇るアジアサッカー界も支援しております。日の丸を胸に、今日もサッカー日本代表が世界の舞台でチャレンジ続けるように。わたしたちもサービス先端企業として、さまざまなチャレンジを続けてまいります。

クレディセゾンはサッカー日本代表の
サポーターカンパニーです。



CORPORATE DATA

会社概要

(2020年3月31日現在)

商号 株式会社クレディセゾン Credit Saison Co., Ltd.
 設立 1951年5月1日
 資本金 759億29百万円
 従業員数 2,981名 他に嘱託、パート・アルバイトの期中平均雇用人員は538名(1日7.5時間換算)
 本社 〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F
 主要な事業内容 ①ペイメント事業<クレジットカード事業およびサービサー(債権回収)事業等>
 ②リース事業<リース事業>
 ③ファイナンス事業<信用保証事業およびファイナンス関連事業>
 ④不動産関連事業<不動産事業、不動産賃貸事業およびサービサー(債権回収)事業等>
 ⑤エンタテインメント事業<アミューズメント事業等>

役員

代表取締役会長CEO	林野 宏	取締役(兼)執行役員	足利 駿二
代表取締役(兼)社長執行役員COO	山下 昌宏	取締役(兼)執行役員	安森 一恵
代表取締役(兼)副社長執行役員CHO	高橋 直樹	取締役	林 郁(社外)
常務取締役(兼)常務執行役員	水野 克己	取締役	富樫 直記(社外)
常務取締役(兼)常務執行役員	岡本 龍成	取締役	大槻 奈那(社外)
常務取締役(兼)常務執行役員	三浦 義昭	常勤監査役	金子 美壽
取締役(兼)常務執行役員	馬場 信吾	常勤監査役	原田 宗宏(社外)
取締役(兼)常務執行役員	小野 和俊	常勤監査役	井川 裕昌(社外)
取締役(兼)執行役員	松田 昭博	監査役	笠原 智恵(社外)
取締役(兼)執行役員	磯部 泰之		

株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数:300,000,000株 発行済株式の総数:185,444,772株 株数:13,781名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	29,572	18.92
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	14,084	9.01
(株)大和証券グループ本社	8,050	5.15
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	7,367	4.71
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	5,085	3.25
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	3,964	2.54
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 1	3,014	1.93
(株)みずほ銀行	3,000	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	2,812	1.80
JP MORGAN CHASE BANK 385151	2,761	1.77

※1.当社は、自己株式を29,134,926株保有していますが、上記大株主からは除外しております。

※2.持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎0120-782-031(9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載) <https://corporate.saisoncard.co.jp/>
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 8253

【株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について】証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様は、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会、上記の電話照会先にお問い合わせください。

CREDIT SAISON

